

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



2019年度 年主題「ことばに満たされて～ひびきあう」

**1・2歳児 3月主題 「大きくなる」**  
 月のねがい  
 ◎一年間守って下さった神さまに感謝する  
 ◎自信を持って生活を楽しみ、新しい世界に憧れをもつ  
 ◎季節の変化を感じ、春を見つける

**3・4・5歳児 3月主題 「かけがえのない」**  
 月のねがい  
 ◎一人ひとりが神様に愛されているかけがえのない存在であることを感じる  
 ◎神様への感謝、希望をことばや賛美で表す  
 ◎アイデアを出し合い遊びを充実させ、満ち足りた思いを持つ



今月の聖句「あなたの若い日に、あなたの創造者をおぼえよ。」

伝道者12:1

2016年7月、世界を震撼させる事件が起こりました。相模原障害者施設殺傷事件です。一人の犯人によって、19人のいのちが奪われ、26人が重軽傷を負いました。犯人は「障害者は死んだほうがいい」と常日頃から発言し、実際にかつて勤めていた施設で殺人事件を起こしてしまいました。取り調べの際、「障害者の安楽死を国が認めないから自分がやった」と言ったそうです。二回の公判を経て、今年3月16日に判決が下ります。裁判では、被害者を甲乙で呼んだことが物議をよびました。不服とした遺族が実名を名乗り上げました。さらに、被告が「価値がない」とみなした被害障害者について、その遺族が反論しています。「障害を抱えていても、あの子が生きることだけで幸せだった」「その笑顔に救われた」「口もきけなかった我が子から多くの事を学び、教えられた」等…。どこからそういう思いが生まれるのか、分からない、不思議でなりません。いのちの尊厳、差別のない社会、安心して生きていける世界、果たして本当にそのようなものがこの世にあるのだろうかと考えさせられます。

そのような不安を抱える私たちに、聖書は語ります。「あなたの若い日に、あなたの創造主を覚えよ」と。この創造主は障害があるなしに関わらず、いのちを尊ぶお方です。ですから、そのお方を知っている者、覚えている者は自ずといのちを尊びます。どんないのちも、誰に対してもです。いのちの尊厳を語る時、例外なく誰もがかけがえのない存在だという時、そのスタートラインは、この創造主なる神、イエス・キリストを信じて生きるということの中にあるのです。

協力牧師 池田基宣



退職のお知らせ

吉元 綾 保育教諭、木口屋 恵子 支援員が3月末日をもって退職致します。皆様にはこれまで大変お世話になりました。今までのご支援に心より感謝申し上げます。

3月の行事予定

2日(月)	参観日(くじら)
5日(木)	弁当の日
14日(土)	第62回卒園式 父母の会総会
16日(月)	弁当日
19日(木)	修了式(1号午前保育)
21日(土)	入園準備説明会
30・31日	休園日(新年度準備の為)

4月の行事予定

7日(火)	始園式(1号午前保育)
7~10(金)	1号新入園児慣らし保育
11日(土)	入園式・新年度クラス会 田植え、交通安全教室

ことばに満たされて

先日の避難訓練の時のことです。始まりの時間になってみんな部屋に入っていたのですが、2才児のS君と6才のTちゃんは、中々足が部屋に向かずに、園庭をうろうろしていました。そんなときに、訓練用のベルの音が園内にけたたましく広がったのです。部屋に入っていた子どもたちは、いつもの訓練どおり保育者のところに集まり、並んで避難を始めました。そして園庭にいた2人には、近くにいた保育者が一緒に訓練に加わろうと声をかけたのだそうですが…。2才のS君が大きな声で叫び思うようには手を繋いでくれません。どうしたものかと思いめぐらせたところ、Tちゃんが、「そうそう、わかってる！ 恐かったんでしょ！」と、お姉ちゃんの口調で声を掛けてきたそうです。実はTちゃんもこの大きな非常ベルの音はもとも苦手でした。この時も、不意に鳴り出した音にびっくりに、耳を両手でふさいでいたのです。でも、この時、たまたま同じ空間にいた小さなお友だちに、自分の経験からくる思いを言葉につなぎ、いたわりの言葉で「大丈夫よ！一緒に逃げよう！」と、手を差し伸べたのでした。

この話を担当の保育者から聞いたときに、驚くべき言葉の力に満たされました。生まれて間もない子どもたちが、ヨチヨチと歩きだし、片言の言葉を使い始めます。そして、たくさん遊び込んで集団での経験を重ねていきます。あらゆる機会に心を動かし、それが言葉と繋がって表現となったときに、子どもたちは会話を獲得していくのだと確信し、神様の恵みに感動を覚えました。

今年も、子どもたちと保育者たちの言葉が共に響き合う豊かな一年を過ごすことができました。力足らずの私たちに、温かいご支援をいただき心から感謝いたします。ありがとうございました。 園長 園師 愛



ひかりの子どもらしく 旅立ちの春

荒れる日も少なく、落ち着いた天候が続いた二月でしたが、何より今の心配事は新型コロナウィルスですね。こども園の運営も今後どうなるか心配なところですが、この様な時こそ、いつも心掛けてまいりました。一雨ごとに暖かみを増してきてくる季節。心掛けてまいりました。一雨ごとに暖かみを増してきてくる季節。心掛けてまいりました。一雨ごとに暖かみを増してきてくる季節。

四月からは「学童期」と呼ばれる義務教育に入る年長さん。幼児期に芽生えた社会性が成熟していく時期です。人間はその文字が示すように、互いに支え合いながら人間で生きていく生き物。人間関係そのものが人生ともいえるのでないでしょうか。開わり方の多少はありますが、どんな人でも他者との関係を通して自分の存在を実感できるのだと思います。「幼児期」は、まず安心感を育てる時です。なかなか友だちの輪に入れない子どもにも不安を感じられた方もあったことでしょうか。ほとんどは身近な人たち(とりわけ母親)で自分の気持ちや言動を多く聞いてもらえたり感じることです。安心感が育ち、先生や友だちと関わるようになっていくことです。精神分析の Erickson は、人間が勤勉に生きていくことこの基盤は、「学童期」に友だちから学び、友だちとの遊びやおしゃべりを通して、知識や経験、感情をたくさん共有することで、友だちや周囲の人に対して自発的、習慣的に関係を持つようになるということです。現代の子どもたちは、互いに教えあひ学び合う機会を得られていくのでしょうか。「交わりはすべてスマホから」だとしたら、本当に怖いことです。何が本当に大切なことを真摯に伝える大人の責任を強く感じます。

『ひかりの子どもらしくあゆみなさい』。今年も年長児の「卒園の歌」の練習を聞きながら、この聖句を卒園記念の聖書に書き込んでいきます。一人一人の顔を思い浮かべながら筆を運ぶこの時間は、まさに至福の時です。個々の育ちの過程にしっかりと寄り添えることができたのか。自己肯定感が育まれるような言葉掛けができたのか。発達に最も大切な「あそび」が自由に探求できる環境が整えられたのか…。静かに内省する時でもあり、何かし、何よりも集団生活の中で、活動や行事を友だちと共に経験する機会をたくさん備えることができたことに感謝でした。

光は明るく、温かく私たちに照らし、希望を与え、愛の心を育ててくれます。私たちは、すべての園児たちがキリストの光に照らされ、「神様の子ども」として成長するようにと祈りつつ保育を行って参りました。多様化する時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだということを忘れずにいてほしいと願います。心優しいひかりの子として歩むことが出来ますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫言し、心より感謝申し上げます。学園長

考える力を育もう・第2弾  
～非認知能力～  
3つの要素

**非認知的能力とは**

**目標に向かって頑張る力**

**人とうまく関わる力**

**感情のコントロール力**

「ありのままがいいんだ」という自己肯定感が生まれ「がんばってみよう」という前向きになります。この安心感と、親に見守られてやりたいことをやる中で、非認知能力の基礎ができていきます。子どもがやることを「おもろいなあ」と楽しめたら、それが未来を救う知恵を育むことにつながっていきます。

心理:木口屋 恵子

A1化が進む21世紀を生き抜く力「非認知能力」。正解のない問題に自分なりの答えを見つけて解決する力であり、壁にぶつかったときにアイデアをいくつも出せる発想力や、失敗から学んで挑戦する粘り強さが生き抜く力になっていくようです。日本も左記の3要素を高めるような幼児教育・保育へと方針転換し始めました。すべての子どもにこの教育を受けられる機会を与えることも、無償化保育の背景にあります。

「親ができることは、無条件の愛を与えてあげること」無条件で愛されている、いつだって助けてくれるという基本的な信頼感と安心感を育てることです。子どもが泣いたり呼びかけたりしたら、いつも温かく応える。失敗したら頭ごなしに怒らず「大丈夫だよ」と励ます。不安そうときは寄り添う。そんなかわりの積み重ねで安心感や信頼感が根付くと

- 忍耐力** (最後までやり抜こうとする)
  - 新しいものに挑む
  - 柔軟な発想
  - 粘り強く取り組む
- 社会性** (人と上手にコミュニケーションする)
  - 自分で考えようとする
- 感情のコントロール力** (気持ちをうまくコントロールする)
  - 失敗から学んで立ち上がる